



Link “新風”

第 27 号
(通算 第 120 号)



富士山がうっすら雪化粧をはじめました。日に日に寒くなりますね、みなさん風邪をひかないように気をつけてくださ～い。

世界同時不況が現実のものとなりつつある中・・・

秋の気配色濃く、いよいよ冬の到来をつげる時期となりました。農家の人たちが懸命に収穫した田圃から、藁の匂いが漂い、懐かしい少年時代の記憶をよみがえらせてくれます。なんとなくホットして自然に感謝するひとときであります。



さて、毎年この時期にわが社の重要な行事、粉体工業展への出品がありました。今年は、幕張メッセで「国際粉体工業展東京2008」として開催され、無事終了することが出来ました。

企画、準備、運営などに尽力された各位に感謝します。幸い天候にも恵まれ、相応の成果をもたらしてくれたものと確信しています。主要各国が景気後退入りしたことを認めている今日、世界同時不況が現実のものとなりつつあります。当社にとっても厳しい経営を強いられる状況が待ち受けていると想定し、展示会で掘り起こした貴重な潜在情報を大事に、大事に育てお客様にわが社の製品・システム・基本動作を購入していただくよう全社員

が一丸となって創注活動していかなければなりません。

来年の粉工展は、大阪で開催されます。今回の展示会の成果と反省のまとめが、すでにその準備に取り掛かっていると認識し、途切れることなく万全を期していきたいものです。

引き合い物件の動向情報を怠ることなかれ！この不況下、計画の見合わせ、先送りなどが発生することが充分予想されます。既に巷の情報では、大手企業が設備投資の計画中止や発注をキャンセルしているし、ゼネコン業界では有望な案件のキャンセル発生など刻々と影響が出始めています。ますますパイが小さくなるわけで、我われの業界も更に競争が激しくなっていくでしょう。我われは、この状況を真摯に受け止め、危機感をもって報・連・相・打をより一層徹底していく必要があります。

11月2日、パナソニック殿が、三洋電機殿に対しTOBを実施し、子会社化するというニュースが入りました。このような業界再編成は更に加速されるものと思います。この観点から戦略、戦術の見直しも必要となってきます。いずれにしても、9月にスタートした今期の計画を達成するべく息を抜かずがんばりましょう。

一般の方に「粉体と聞いて何を思い浮かべますか？」と尋ねると？？？ですが、「粉(こな)と聞いて・・・」と尋ねると、小麦粉、砂糖、塩、セメント、化粧品など結構な数が出てきます。かように、気体・液体・固体に次ぐ第4の物質といわれる「粉体」は、認知されておらず、広辞苑にも掲載されていません。(因みに、PCの大辞林、大辞泉には掲載されている)(社)日本粉体工業技術協会は、広辞苑に「粉体」を新収してもらうべく岩波書店に申請するそうです。一般の方々に、「粉体」を身近に感じてもらい、粉体技術は生産に欠かせない極めて重要なものと認知してもらうことにより、粉体機器製造業界がもっと発展すると確信しています。例えば、将来を担う子どもたちに粉工展に来てもらう企画など如何でしょうか。

我われが生業としている「バルクハンドリング機器」という語句も一般には分かり難いですが「バラな状態の粉体を操作(貯留・供給・輸送)する機械」と理解してもらえばいいでしょう。バルクハンドリングは、粉体設備においては欠くことのできない技術であり、また、最もトラブルが多い分野であります。お客様にもっと価値を認めていただきたいのですが、何故かしら脚光を浴びない地味な存在です。今日、大学においてもバルクハンドリングを研究されておられる先生は殆どいません。(もっとも、大学のこの傾向は、他の粉体機器でも同様のようですが)先ほど述べたように、「粉体」をはじめ、「粉体機器」のアピール手段を真剣に検討する時期ではないかと考えています。勿論、技術開発が最優先することは間違いありません。

今年もあと2ヶ月となりました。健康と安全には充分気をつけて新しい年を迎える準備をお願いします。

社長 赤堀肇紀

